

# 社会福祉法人 河北会

## 平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

特別養護老人ホーム さくらぎの里  
さくらぎの里短期入所生活介護事業所  
さくらぎの里居宅介護支援事業所  
グループホーム さくらぎ

## 平成28年度事業報告書（概要）

### 1. はじめに

平成28年度は、これまでの運営等の見直しを踏まえて臨んだ前年度の取組みを継続させた年度であり、また3か年計画である「中期経営計画」に基づき、法人全体で把握し改善に向けて取組んで参りました。

「中期経営計画」の平成28年度重点項目に対する実績は、前年度から全職員に目標達成への意識付けを周知徹底したものの、外部環境や施設体制等から全ての項目を達成することは出来ませんでした。しかしながら、利用者のため職員の資質向上に重点を置き、法人全体として実施する委員会主体の施設内研修の更なる充実、外部研修への職員の積極的な参加促進等を行い、職員のケアに対する意識改革、利用者個々に応じた質の高い個別的对応ケアの実現を目指し活動して参りました。

経営面では、経営の要となる特別養護老人ホームにおける利用者の重度化がもたらす影響が顕著に表われ、厳しい状況となった年度でもあった。

地域における公益的な活動として、平成28年度から社会福祉法人が種別を超えて連携・協力し、制度の狭間にいる方々の自立を支援する新たなセーフティネットを構築するため、「地域公益活動推進事業準備会」を立上げ、当法人の職員が当該事業の相談員として活動し、生活困窮世帯等に対し3件の支援を実施。平成29年度から「IWA TE・あんしんサポート事業」として事業を開始することから、関係機関と連携し支援対象者への経済的支援や各種制度・サービスの利用支援等を行っていくこととしたい。また、松園地区地域協働推進委員会保健・福祉部会の平成28年度の事業活動として、家に閉じこもりがちなる方に対して、町内会単位の食事会を企画し、これを機会に交流が生まれ、支え合って暮らせる街づくりを目指すことを目的とした「松園地区わくわく食事会」と称して、松園地区の施設等で2回に亘り開催しました。平成29年度は、当施設で開催予定であり、地域の活性化につなげて参りたいと思っております。

以前から事業推進委員会が主体となり、事業準備を進めて参りました「グループホームさくらぎ」が地域の皆様のご協力、ご支援いただいたことにより、平成28年7月1日に無事開所することが出来ました。現在、地元町内会の一員として、地域の季節行事等に積極的に参加することにより、グループホームへの理解を深め、地域に密着した施設として受入れられるよう活動しております。

平成29年度は、中期経営計画の最終年度を迎え、この計画が完了できるよう進捗状況の管理を更に徹底するとともに、社会福祉法人制度改革として社会福祉法の改正が施行される重要な年度でもあることから、今後更に経営基盤の強化に取り組み、法人事業全体の底上げを着実に進めて参ります。

平成28年度事業報告に当たり、施設の利用者並びにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から温かいご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

## <法人の運営>

### 1. 利用稼働率について

平成28年度の事業運営については、各事業所別の平均利用者数では、特養入所事業で短期入所の長期利用者の特養への新規入所が増加したものの、利用者の重度ゆえの長期入院や退所者が発生し、それに伴って空床の発生する頻度も増加した結果、年間平均稼働率で前年対比▲0.1%減とほぼ横這いであった。

短期入所事業では長期への入所のほか、定期利用者の他施設への長期入所及び入院等があり、特に期前半の稼働率の悪化が影響し、前年対比▲5.8%減となった。

居宅介護事業では、他施設への長期入所や他事業所への契約変更による契約終了があったものの、新規先の確保に向けた強化策の実施により、前年対比+7件の増加となった。

平成28年7月1日に開所した「グループホームさくらぎ」では、満床(18床)までに3か月の期間を要したことから、稼働期間9か月で平均稼働率86.1%(平均利用者数15.5人)となった。

### 2. 決算内容について(拠点区分毎)

#### (1) 特別養護老人ホームさくらぎの里

事業活動計算書の介護保険事業収益においては、前年度の介護報酬の引下げとなった影響続き、また短期入所で上記1の理由により、291,325千円と前年対比▲10,425千円の減収となった。当期活動増減差額では、人件費では正規職員への転換や昇給等により総体での人件費は増加したものの、グループホームへの職員異動により前年比▲3.3%減、事業費では光熱費の節減を図るため、エアコンの温度調整やデマンド管理の徹底により、前年比▲5.5%減、しかしながら、事務費にて人員確保のための人材紹介手数料の負担等により、前年対比+16.8%の増加となり、また給湯器の代替購入による固定資産除却損4,146千円の発生等により25,675千円の計上となった。

#### (2) グループホームさくらぎ(平成28年7月1日開所)

当初の事業計画では開所から2か月で18名の満床を目標としていたが、満床までに3か月の時間を要したことから、事業活動計算書の介護保険事業収益では、52,412千円の計上と当初の事業計画を下回る実績となった。

当期活動増減差額では、事業費にて消耗器具備品関係等で当初の計画を上回る等、開所に伴う設備投資負担が大きく、また利用者の安全面を考慮し配置基準以上の人員を確保したため、長期にわたる派遣職員の雇用によって人件費が負担増となり、▲11,451千円の計上と開業赤字となった。

※上記内容の根拠資料については、【別紙1-①】利用者稼働状況

【別紙1-②】財務分析表(個別指標診断結果)

### 3. 理事会・評議員会の開催状況

#### (1) 理事会の開催状況

回数	月 日	場 所	出席者	議 案
1	28.5.25	2F 会議室	理事 8 名 書面 1 名 欠席 0 名 監事 2 名	報告第 1 号 「グループホームさくらぎ」新築工事に伴う追加工事の発注について
				議案第 1 号 平成 27 年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第 2 号 平成 27 年度社会福祉法人河北会決算について
				議案第 3 号 「グループホームさくらぎ」の利用契約書並びに重要事項説明書の制定について
				議案第 4 号 平成 28 年熊本地震災害に対する寄付金（義援金）の支出について
2	28.10.12	2F 会議室	理事 8 名 欠席 0 名 監事 2 名	議案第 1 号 盛岡市指導監査指摘事項の是正改善報告（案）について
				議案第 2 号 社会福祉法人河北会諸規程の一部改正並びに「指定短期入所生活介護」重要事項説明書の一部改正について
				議案第 3 号 施設設備機器（給湯器）の代替購入に伴う施設整備積立金の取崩し並びに施設整備積立金の新規積立について
3	29.2.21	2F 会議室	理事 6 名 書面 2 名 欠席 0 名 監事 2 名	議案第 1 号 社会福祉法人河北会定款（案）の全部改正について
				議案第 2 号 社会福祉法人河北会評議員選任・解任委員会の設置並びに社会福祉法人河北会評議員選任・解任委員会運営細則（案）の制定について
				議案第 3 号 社会福祉法人河北会評議員選任・解任委員会委員の選任について
				議案第 4 号 社会福祉法人河北会評議員会委員候補者の推薦について

				議案第5号 平成28年度社会福祉法人河北会予算補正について
				議案第6号 「グループホームさくらぎ」の賃借権設定登記並びに土地賃貸借契約書の再締結について
4	29.3.24	2F 会議室	理事 8名 欠席 0名 監事 2名	議案第1号 平成29年度社会福祉法人河北会事業計画(案)について
				議案第2号 平成29年度社会福祉法人河北会予算(案)について
				議案第3号 平成29年度社会福祉法人河北会積立金計上について
				議案第4号 社会福祉法人河北会育児・介護休業に関する規程の全部改正について

(2) 評議員会の開催状況

回数	月 日	場 所	出席者	議 案
1	28.5.25	3F 地域交流センター	評議員 16名 欠席 1名 監事 2名	報告第1号 「グループホームさくらぎ」新築工事に伴う追加工事の発注について
				議案第1号 平成27年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第2号 平成27年度社会福祉法人河北会決算について
				議案第3号 「グループホームさくらぎ」の利用契約書並びに重要事項説明書の制定について
				議案第4号 平成28年熊本地震災害に対する寄付金(義援金)の支出について
2	28.10.12	3F 地域交流センター	評議員 17名 欠席 0名 監事 2名	議案第1号 盛岡市指導監査指摘事項の是正改善報告(案)について
				議案第2号 社会福祉法人河北会諸規程の一部改正並びに「指定短期入所生活介護」重要事項説明書の一部改正について

				議案第3号 施設設備機器（給湯器）の代替購入に伴う施設整備積立金の取崩し並びに施設整備積立金の新規積立について
3	29.2.21	3F 地域交流センター	評議員 14名 欠席 3名 監事 2名	議案第1号 社会福祉法人河北会定款（案）の全部改正について
				議案第2号 平成28年度社会福祉法人河北会予算補正について
				議案第3号 「グループホームさくらぎ」の賃借権設定登記並びに土地賃貸借契約書の再締結について
4	29.3.24	3F 地域交流センター	評議員 15名 欠席 2名 監事 2名	議案第1号 平成29年度社会福祉法人河北会事業計画（案）について
				議案第2号 平成29年度社会福祉法人河北会予算（案）について
				議案第3号 平成29年度社会福祉法人河北会積立金計上について
				議案第4号 社会福祉法人河北会育児・介護休業に関する規程の全部改正について

### 3. 監事監査報告

監査報告	監査期間	報告者	所見ほか
29.5.15	H28.4.1～29.3.31	2名	平成28年度計算書類・附属明細書・財産目録

### 4. 入所判定委員会

入所に関して透明性、公平性を確保するため、入所判定委員会を下記の計3回開催し、12名の利用者が入所した。

開催数	開催日	入所者数
第1回	H28.7.5	3名
第2回	H28.10.5	4名
第3回	H29.3.1	5名

### 5. 苦情対応委員会

利用者の権利を擁護し、適切な施設運営を行うため、苦情受付窓口担当者及び苦情解決責任者を引続き配置し、平成28年6月24日、同年11月12日、平成29年3月11日の計3回開催した。

苦情件数については、年間通じて特養1件、居宅介護支援事業所4件、グループホ

ーム1件の計6件の苦情があり、要因として、特養の苦情は受診病院への情報提供遅延により受診の待ち時間の長さにつながった。居宅介護支援事業所の苦情は、事務的な対応と対応態度への不満やアドバイス不足、服装等の苦情があった。要因として、職員の配慮不足や職種間の連携と共通認識不足から発生しており、苦情に対しては全職員が真摯に受け止め、改善に向けて取組んでいる。今後も苦情に対する改善策について、委員会を通して全体で統一し支援に努めることとした。

#### 6. 人材確保・継続雇用について

人材確保については介護業界全体の課題となっているが、当法人では人材確保の具体的手段として、合同就職説明会への参加、ハローワーク・介護人材センターの求人での継続的募集、福祉系の学校訪問、介護労働安定センターの求人募集等実習生の受入を積極的に実施。また無資格の人材でも積極的に雇用、既存職員の正規職員への転換や昇給、資格支援等により退職者が減少する等、最大限の雇用努力を行い、特養及びグループホーム共に安定した人材確保につながった。

#### 7. 職員の資格取得について

平成28年度は、新たに介護福祉士1名、初任者研修修了者1名、認知症対応型サービス事業計画作成者研修修了者1名、同実践者研修修了者1名、介護実習指導者研修修了者2名、医療的ケア第一号研修修了者1名、同第二号研修修了者3名が資格を取得した。

#### 8. 介護職員処遇改善交付金

- (1) 平成28年度も引続き介護職員の処遇改善を目的とし岩手県に処遇改善計画を申請、承諾を得て実施し併せて盛岡市へ処遇改善体制加算を申請し、受理された。
- (2) 賃金改善期間内の賃金改善額については、処遇改善交付金の受給総額を上回る額を介護職員全員に支給し賃金改善を行った。

#### 9. 福祉サービス第三者評価の受審について

平成26年10月17日に評価機関である岩手県社会福祉協議会の福祉サービス第三者評価を受審した結果を踏まえ、継続して第三者評価委員会を設置し改善に向けて対応策を講じて全職員がサービスの質の向上を目指し既に着手している。継続受審の予定であるが、受審時期については現在評価機関と協議中である。

<特別養護老人ホームさくらぎの里、短期入所生活介護事業所の運営>

1. 施設整備の状況

(1) 修繕について

平成28年度は、給湯器の度重なる故障により代替購入。また、前年度に続き経年による厨房機器の劣化が進み、厨房機器の修理も多発し修繕費が増加した。

(2) その他

送迎用福祉車両として、軽自動車を1台購入。

厨房機器の食器洗浄機の故障が多発しており、また業務用パソコンの一部と業務連絡用PHSについても故障が多く、業務に支障を来していることから、平成29年度での代替購入を検討中である。

※整備状況の詳細については、【別紙2】の一覧表のとおり

2. 総合防災訓練の実施状況

実施月	想定内容	訓練内容	参加者
8月5日	日中想定	総合訓練 (消火・通報・避難誘導・消火器使用方法・屋内消火栓)	職員 20名 利用者 4名 協力者 6名
12月9日	夜間想定	総合訓練 (消火・通報・避難誘導・消火器使用方法・屋内消火栓)	職員 21名 利用者 6名

3. 広報委員会

(1) 広報「さくらぎだより」は、前年度の発行状況が3号に留まったことから、年度初めに委員会にて年間で四半期毎に発行部数4部を目標とし、各行事や項目毎に担当者を決めて活動することにより、年間を通じて4号の広報を発行し、施設行事等の詳細についても定期的に掲載することが出来た。

(2) ホームページについては、現行システムでは内容の更新に限界があるため、取引業者を変更し、新たにホームページを開設することで特養及びグループホームの施設概要やサービス概要、情報公開等の内容を分かりやすく、閲覧しやすいホームページに変更した。今後も定期的に更新し、各施設のアピール強化を図っていくこととしている。

4. 安全委員会（医療的ケア委員会）の活動

(1) 平成28年度は、毎月1回の定例的に開催に拘わらず、リスク問題となる前に防止策を立てる等随時開催している。翌月初のリーダー会議で報告すると共に問題提起し改善を図っている。また毎月の回診時に合わせ経過報告を行った。

(2) 事故・ヒヤリハット報告

利用者の重度化傾向進む中、職員体制を強化し、平成28年度の事故・ヒヤリハット件数は232件（前年度100件）と132件の増加となった。要因として、新



人介護職員も増えてきたことから、報告書を作成することに慣れる、作成方法を覚える、情報を共有することを主として、些細なことでも報告書を作成する意識を高めることを目的としていたことが件数増加につながったものであり、期初に掲げた課題をクリアすることが出来た。

報告分析結果として、利用者の活動が多い時間帯の発生件数が多いことが考えられる。その中で、認知症の利用者が多く幻視があり、思い違いが起りやすい等により、物を拾う動作があることで車椅子から転落、ずり落ちが多かった。外傷については高齢であるが故の皮膚の脆弱によるものが要因と思料される。

平成29年度は、ケアの不適切による事故、繰返し起こる内容等、安全委員会で引き続き防止策を検討するとともに、施設全体で事故予防に向けたリスクマネジメント、職員の育成に取組み、再発防止に努めていくこととしている。

- (3) 身体拘束については、毎月安全委員会と併せて開催し、利用者の不穏状態等の観察や見守りを行い、コミュニケーションを図ることで身体拘束ゼロの継続を目標に実施した結果、平成28年度の身体拘束は1件もなかった。
- (4) 感染症については、11月～3月までを感染症対策強化月間とし、施設全体で日々の予防に努めたことで、平成28年度はインフルエンザ、ノロウイルス等の発生はなかった。

※平成28年度事故・ヒヤリハット報告の発生件数等の詳細は【別紙3】を参照。

#### 5. 研修委員会の活動（介護サービスの質の向上を重視）

平成28年度は、高齢者権利擁護推進員養成研修会のほか、リスクマネジメント研修会等の研修会に積極的に参加させ職員の資質向上を図った。その他、グループホームでは、認知症介護サービス事業計画作成者研修・実践者研修にも参加した。

また、当施設の主任看護師が、前年度に続き、中央ブロック高齢者福祉協議会看護部会の委員長として研究会の全般に携わった。

#### ① 施設内研修実施状況

開催日時	研修内容		講師
2.6.17	認知症サポーター養成講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症について</li> <li>・認知症の早期診断、早期発見の必要性</li> <li>・認知症の人への対応、本人・家族の気持ち</li> <li>・認知症サポーターとは</li> </ul>	社団法人認知症の人と家族の会 岩手県支部 副代表 工藤 克行
28.12.14 28.12.28 29.1.17	職員の経験年数に合わせた医療的ケア等の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症（インフルエンザ・ノロウイルス）</li> <li>・酸素ボンベの使用法</li> <li>・AEDの使用法（実演）</li> <li>・血糖測定方法（実演）</li> <li>・疾患、症状</li> </ul>	藤田 ミ子 （看護主任）
28.12.7 ～12.13	感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノロウイルス感染予防、嘔吐物処理の方法について</li> </ul>	藤田 ミ子 （看護主任）

			介護員
28.11.23 28.11.30 28.12.14 28.12.21	リスクマネジメントについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜなぜ分析とは</li> <li>・なぜなぜ分析が目指すゴール</li> <li>・事故について、安全の定義</li> <li>・絵を見ながら、危険予測をグループにて話し合う</li> </ul>	中田 桂敏 (施設介護支援専門員)
29.1.18 29.1.25 29.2.15 29.2.22	KY Tを含むリスクマネジメントについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のテーマを踏まえてのグループワーク等</li> </ul>	中田 桂敏 (施設介護支援専門員)
29.3.8 29.3.22	高齢者虐待について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待とは</li> <li>・虐待をどのように捉えるのか</li> <li>・虐待の対応について</li> <li>・グループワークと発表</li> </ul>	今松 裕子 (居宅介護支援専門員)

## ② 施設外研修受講状況

日時	主催	テーマ	職種	参加者
28.5.12	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成 28 年度東北ブロック老人福祉施設大会	施設長	雪ノ浦昭子
28.5.19	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団	人事考課研修	総務課長	武藤香織
28.6.2	岩手県社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協議会	平成 28 年度第 1 回あんしんサポート相談員養成研修	総務課長	武藤香織
28.6.9	盛岡市保健所	平成 28 年度給食従事者研修会	管理栄養士	田口郁美
28.6.24	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	平成 28 年度苦情を考えるセミナー	生活相談員(苦情窓口受付担当者) 第三者委員 第三者委員	坂本 真紗美 山井英子 露崎恵美子
28.7.4 ～9.30 28.11.29 ～12.2	岩手県社会福祉協議会	平成 28 年度岩手県介護職員等医療的ケア研修(第二号研修) 講義 演習	ユニットサプリーダー ユニットサプリーダー 介護員	細越由貴子 高橋将宗 畠山修司
28.7.7	岩手県社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協議会	平成 28 年度監事研修	理事長 監事 監事	雪ノ浦昭子 吉田富榮 菊池 博

28.7.7	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 28 年度中央ブロック高齢者福祉協議会臨時総会並びに施設長研修会	施設長	雪ノ浦昭子
28.7.13 ～7.14	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団	平成 28 年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【初任者編】	介護員	佐々木結 草木繁也
28.7.20 28.10.25	NPOいわての保健福祉支援研究会	介護職・福祉職・看護職等の人材育成のためのケアのリスクマネジメント研修会	介護支援専門員	中田桂敏
28.7.25	いわてユニットケア研究会	平成 28 年度第 18 回岩手ユニットケア研究会	介護支援専門員 看護員	中田桂敏 三上真一
28.8.23 ～8.24	岩手県社会福祉協議会	平成 28 年度社会福祉法人経営戦略セミナー	施設長	雪ノ浦昭子
28.10.11 ～10.14	岩手県社会福祉協議会	平成 28 年度岩手県介護職員等医療的ケア研修(第一号研修) 演習	介護員	中田信孝
28.10.12	岩手労働局	育児・介護休業法等の改正及び説明会	総務課長	武藤香織
28.10.13	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 28 年度中央ブロック高齢者福祉協議会新任職員研修会	介護員 介護員	佐々木結 草木繁也
28.10.25 ～10.26	全国老人福祉施設協議会	平成 28 年度東北ブロックカンントリーミーティング (in 青森)	総務課長 生活相談員	武藤香織 坂本真紗美
28.10.25	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 28 年度中央ブロック高齢者福祉協議会代 1 回事務研究会	経理課長	小田島敦史
28.11.7 28.12.2 28.12.19 29.1.16	公益財団法人いきいき岩手支援財団	平成 28 年度岩手県高齢者権利擁護推進員養成研修会 第 1 回～第 4 回 講義・施設見学・演習・実践 報告会	看護主任	藤田ミ子
28.11.9 ～11.11 28.12.12 ～12.16	一般社団法人日本ユニットケア推進センター	平成 28 年度後期ユニットリーダー研修 講義 施設実地研修	介護主任兼ユニットリーダー	大堂公晋
28.11.11	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	平成 28 年度福祉サービス苦情解決専門研修	施設長(苦情対応責任者)	雪ノ浦昭子
28.11.14	盛岡市保健福祉部	社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明会	施設長 総務課長 経理課長	雪ノ浦昭子 武藤香織 小田島敦史
28.11.21	岩手県社会福祉協議会	平成 28 年度リスクマネジメント講座	ユニットリーダー ユニットサブリーダー	千葉北斗 中條貴純

28.11.21 ～11.22	中央ブロック高齢者 福祉協議会	平成 28 年度事務長研修会	総務課長	武藤香織
28.11.28. ～11.29 28.12.12 ～12.13	公益社団法人日本介 護福祉士会	平成 28 年度介護福祉士養成実習施設実習指導 者特別研修会	ユニットリーダ ー ユニットリーダ ー	阿部孝也 井上真衣
28.12.9	中央ブロック高齢者 福祉協議会	平成 28 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 1 回生活相談員研究会	生活相談員	坂本真紗美
29.1.11 29.1.12 29.2.16 29.2.17	盛岡市保健福祉部	介護事業所向けエルダー制度等研修会	総務課長 介護主任兼ユニ ットリーダー 施設長 ユニットリーダー	武藤香織 大堂公晋 雪ノ浦昭子 大畑英弘
29.1.26	岩手県福祉サービ ス運営適正化委員会	盛岡地域福祉サービ ス苦情解決情報交換会	生活相談員（苦情 窓口受付担当者） 第三者委員 第三者委員	坂本 真紗美 山井英子 露崎恵美子
29.1.30 ～1.31	中央ブロック高齢者 福祉協議会	平成 28 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 32 回職員研究会	施設長 総務課長 看護主任 看護員 介護主任	雪ノ浦昭子 武藤香織 藤田ミ子 佐々木多美子 大堂公晋
29.2.6	個人情報保護委員会	中小企業向け個人情報保護法説明会	経理課長	小田島敦史
29.2.7	盛岡市保健福祉部	平成 28 年度認定調査員現任研修	介護支援専門員	中田桂敏
29.2.15	岩手県社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協 議会	平成 28 年度あんしんサポート相談員情報交換 会（スキルアップ研修）	総務課長	武藤香織
29.2.22	岩手県社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協 議会	岩手県社会福祉法人会計実務者決算講座	経理課長	小田島敦史
29.2.23	公益財団法人いきい き岩手支援財団	平成 28 年度岩手県高齢者権利擁護看護実務者 研修会	看護員	菅野久美子
29.2.27	中央ブロック高齢者 福祉協議会	平成 28 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 3 回役員会並びに施設長研修会	施設長	雪ノ浦昭子
29.2.27	岩手県保健福祉部	平成 28 年度認知症介護基礎研修	介護員	菅野敬浩

29.3.2	岩手県社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協 議会	平成 28 年度社会福祉法人経営者協議会総会・ 管理者セミナー	施設長	雪ノ浦昭子
29.3.6	大澤会計事務所	社会福祉充実残額の算定・策定セミナー	経理課長	小田島敦史

## 6. 実習生の受入状況

種 別	学 校 名	人 数	期 間
看護・介護体験実習	岩手医科大学 医学部・歯学部	2名	10/18～10/21
		2名	10/24～10/27
介護職員実務者研修	介護労働安定センター	3名	10/24～10/26
		3名	1/20～2/6
施設見学	介護労働安定センター	12名	9/12

## 7. ボランティア・福祉体験受入れ・行事等の状況

### (1) 受入れ状況

唄や踊り等の定期的なボランティアの受入れ、近隣の岩手県立青松支援学校の生徒職場福祉体験学習の受入れを例年通り実施した。地域交流を持つことで社会参加の機会となり、利用者だけでなく家族からも喜ばれた。また、外出として、四十四田公園や高松の池の桜を観覧、ショッピングセンターにも出掛け、買い物や外食を楽しむことで更なるコミュニケーションを図った。

### (2) 施設行事・ユニット行事実施状況

【別紙4】のとおり

## 8. 利用者家族交流会の開催

平成29年3月11日に、24世帯で総勢41名（平成28年度：18世帯総勢35名）の家族の参加の下、当厨房の手作りバイキングの昼食をとりながら、職員とコミュニケーションを図り、日頃感じている事や施設に対する要望について、アンケートを実施したほか、直接ご意見を頂く等、盛会裡に終了した。

皆様からいただいた要望やご意見を取り纏め、職員全員に周知し、より良い介護サービスを提供出来るよう改善に向けて今後も取り組んでいくこととした。

## 9. 生活介護係

### (1) 個別ケア

利用者個々の状態把握に努め、各職種とも情報共有しながら連携を図り、より良いサービスを提供できるよう創意工夫を行った。また、利用者の日常生活においては、寝たきりにならないよう、離床時間を適宜行い、職員との触れ合いも大切にしながら信頼関係の構築に努めた。

## (2) 認知症ケアの確立

日常においては、利用者の個々の思いを知るために職員間との情報交換やご家族の方へ相談し協力を得ながら、利用者が快適に暮らせるよう支援した。

施設内研修では事例を取り上げ、グループワークを中心として行い、職員個々の意見交換を行うことで、認知症についての理解をより深め、柔軟な対応をする上での大きなヒントとなった。

## (3) 行事・外出・趣味活動について

季節に合わせて外の景色を楽しんだり、旬のものを食しユニット行事を通して、利用者職員との楽しい時間を過ごすことが出来た。また、個々の趣向を取り入れ、外部講師によるクラブ活動を充実させた。

## 10. 医務室

### (1) 利用者の健康管理、体調不良時の迅速、的確な対応を行うことについて

- ① 健康診断、入所時検査、定期採血を実施することにより、利用者の健康状態を把握し、体調不良時には早期に受診し、健康管理に努めた。
- ② 居室の温度、湿度、掛物の調整。また居室の清掃を徹底し感染症対策にも努めた。
- ③ 発熱、下痢、嘔吐、皮膚トラブル、経管栄養の滴下不良に対して受診し、内服薬点滴の指示を受け、胃ろうの交換を行って、健康の維持を努めた。
- ④ 利用者の体調や病状等を逐次ご家族に報告・説明することで信頼に努めた。

### (2) 協力病院との連携

病院受診の際に、意向を伺う都度、情報提供する事で協力病院との連携に努めた。

### (3) 介護職員の医学的知識の提供、指導

施設内研修の他、申し送りの際に職員に対し、利用者の状態や疾患について情報提供した。また、「事故発生時・緊急時対応マニュアル」について見直しを図った他、救命救急機器の使用法についても施設内研修として指導を行った。

### (4) 医療的ケアの研修の実施について

介護職員4名が医療的ケアの研修を受講。実地研修を実施し4名が資格取得した。

### (5) 全職員に対する感染症の防止と予防の徹底について

- ① 手洗い、エプロン、マスク装着の指導
- ② ユニット、特に水回りの清潔を維持することを指導した。
- ③ 拡大防止の為に、統一した申し送りを実施。適正な消毒剤の使用法を徹底した。
- ④ 各居室の清掃をこまめに行い、感染予防に努めた。
- ⑤ 感染症マニュアルの見直しを図り、施設内研修にて全職員に周知徹底。また、感染委員の指導による介護職員の汚物処理の実演も1週間実施した。

## 11. 機能訓練

### (1) 施設利用者様の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化

- ① リハビリの内容については、機能訓練指導員が各利用者様の評価を行い、ケースカンファレンスにおいて、他部署と検討し担当者会議等を通して、利用者又は利用者家族にリハビリ計画に同意を得ている。日常生活において、実施可能な活動や動作

が継続・維持されるように生活リハビリを中心として、ユニット職員と共に働きかけを行い、機能訓練指導員が個別に必要な運動を実施した。現在、特別養護老人ホームへの入居基準が要介護3以上となり、実用的な歩行は困難となっており、運動の一環としての歩行練習に留まっている。また、ベッド上での運動（関節の拘縮予防）を必要とされる方が増加傾向にあるため、平成29年度についても他部署（特にユニット介護職員）と協力し実施していくこととする。

- ② 介護予防活動や社会参加の取組みとして、ユニット行事や施設行事の他、各種アクティビティ、コーラス活動、各種ボランティア、園芸活動、サークル活動（臨床美術・フラワーアレンジメント）、外出等は前年度を上回る実績であった。また、一昨年からは開始した各フロアにて集団で運動を行うグループ体操も継続実施している。

※リハビリ実施状況については、【別紙4】の行事・ボランティア一覧表のとおり

## 12. 栄養課

- (1) 快適な食生活を送れるよう支援した。

- ① 栄養並びに心身の状況を考慮した栄養ケアマネジメントの実施  
一人ひとりの身体状況、咀嚼・嚥下機能、嗜好・意向等や、多種類からの情報を基に栄養ケアマネジメントを実施し、各利用者様に合った食事の提供に努めた。
- ② 栄養面や嗜好面に考慮したメニューの作成、行事食の実施
- ・栄養目標量に基づき献立を作成し、摂取が難しい栄養素も、味を重視して栄養強化食品を選択し、利用者様に無理なく摂取していただけるよう努めた。また、食材も旬のものを取り入れ、冬季には土鍋料理も提供し、食事からも季節が感じられるよう取り組んだ。
  - ・管理栄養士のみならず、調理員もユニットを回り、利用者の意見を聴取した上で巡視記録は給食会議の参考資料とし改善につなげることが出来た。
  - ・食塩量については、前年度に続き、出汁わり醤油の使用、味噌汁・漬物の調整、麺類や変わりご飯の頻度の調整、盛り付けの統一で年間平均では目標の7g未満に抑えることが出来た。また、職員の意識向上につながるよう調理員からも減塩メニューを募集し献立に取り入れた。
  - ・刻み食、ゼリー食の利用者への対応は、盛り付け時に見た目を普通食に近づける工夫をし、調理法も食材によっては刻まずに提供できる方法を検討した。

- (2) 行事食やセレクトおやつの実施

行事食については、敬老会の松花堂弁当やクリスマスケーキ、大晦日の松花堂弁当、年越しそばの他、祝日に合わせた行事食、三寿司やちゃんこ太五郎による専門店の味等、普段とは異なった雰囲気での食事を楽しんでいただけるよう取り組み、利用者や家族、職員にも好評であった。また、セレクトおやつも利用者の要望を聞き、定期的に行った。

- (3) 食中毒や感染症の発生防止

- ① 日常的な注意喚起と衛生管理、予防を徹底した。
- ・日頃から食材・器具・調理場の衛生管理を徹底し、インフルエンザやノロウイルス

流行時には消毒等により一層強化し、安全な食事の提供に努めた。

- ・害虫獣防除については、業者を変更することで2か月毎の駆除回数を毎月1回の実施に増やすことで衛生管理を徹底した。

② 行事食（おやつセレクト含む）の実施状況

年	月	食事の内容
28	4	おやつ:桜デザート
	5	こどもの日(昼食:あなごちらし、おやつ:かしわ餅、和ロールケーキ)
	6	おやつ:プリン
	7	七夕(昼食:七夕そうめん、おやつ:天の川和菓子)
		夏祭り(昼食屋台メニュー:カレーライス、たこやき)
		土用丑の日(昼食:お好みひつまぶし) おやつ:洋菓子
	8	おやつ:アイスクリーム
	9	敬老会(昼食:松花堂弁当、おやつ:紅白饅頭、ケーキ)
		十五夜(昼食:月見そば【温泉卵を月に見立て】、おやつ:三色団子)
	10	おやつ:おかき
	11	寿司の日(昼食:三寿司慰問・にぎり寿司)
		介護フェア(おやつ:喫茶メニュー)
	12	クリスマス会(おやつ:クリスマスケーキ)
		クリスマスイヴ(昼食:クリスマスプレート、おやつ:クリスマス和菓子)
クリスマス(おやつ:白石食品工業からの寄贈によるクリスマスケーキ)		
大晦日(夕食:松花堂弁当・年越しそば)		
29	1	正月料理
		七草粥(昼食)
		成人の日(昼食:海鮮丼)
		鍋料理(昼食:ほうとう鍋)
		おやつ:洋菓子
	2	節分(昼食:太巻き・にぎり寿司、おやつ:節分和菓子)
		鍋料理(昼食:石狩鍋)
		バレンタイン(おやつ:ハートチョコプリン)
	3	ひな祭り(昼食:ちらし寿司、おやつ:ひな祭り和菓子・甘酒)
		ちゃんこ巡業(昼食:ちゃんこ太五郎慰問)



### 1.3. 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

#### (1) 施設部門

##### 〈問題解決に向けた取組み〉

課 題	経営計画推進体制の確立		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期経営計画が日常的に意識できるよう、毎月のリーダー会議・職員会議にて資料として配布し、職員への意識付けを行う。</li> <li>・中期経営計画の振り返り、進捗状況の確認をリーダー会議等で発表し職員に把握させるとともに職員の意見を集約し改善・向上につなげていく。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実 績	目標対比
リーダー会議・職員会議での進捗状況の確認回数	四半期毎	年4回実施	四半期毎の実施とならずも、リーダー会議及び職員会議で進捗状況について確認し目標達成に向け促した。

課 題	利用者・家族の満足度と接遇マナーの向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇マナー研修会の実施、自己チェックによる振り返り、ケースに応じた職員への個別指導の徹底により、接遇マナーを向上させる。</li> <li>・利用者の尊厳を重視したサービスが浸透するよう、権利擁護に関する研修会を実施する。</li> <li>・利用者、家族及びボランティアに満足度に関するアンケートを実施、また、継続して第三者委員による聞き取り調査を実施し、その結果を踏まえ、要因分析と改善策を全職員に徹底することで満足度の向上に取り組む。</li> <li>・利用者家族に対して、カンファレンス・面会時の際に、要望や意向を聞き取る。</li> <li>・広報「さくらぎだより」を定期発行し、家族懇談会や制度改正説明会を通して、積極的な情報提供と意見交換を行い、家族とのつながりを強化することで家族が相談しやすい体制を構築する。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実 績	目標対比
利用者・家族・ボランティアへのアンケート実施回数	年1回	1回実施	3月11日開催の家族交流会にてアンケート実施。
上記アンケート結果による満足度	70%	89% (総体平均)	上記実施のアンケート結果では相談・情報提供等の満足度で87%、職員の対応については5段階評価で「良」以上が92%の利用者家族の満足度と

			なり、前年度を上回る結果なつた。平成29年度は要望・ご意見について真摯に受け止め、「職員ルール」を明確化し接遇に対する意識を向上を図ると共に、更に満足度を高めるため、施設全体で改善に向けて取り組んでいく。
--	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

課 題	地域に根ざした施設運営の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元町内会等地域住民に対して、介護福祉に関する教室、講演会等を開催し地域貢献につなげる。</li> <li>・地域のお祭り等の行事に参加し、積極的に交流を図る。</li> <li>・施設行事に地域住民の参加を勧める。</li> <li>・災害時や高齢者の捜索等緊急時にも積極的に協力する。</li> <li>・岩手県社会福祉協議会ボランティア（市民活動センター）等を通じ、ニーズにあった新規ボランティアの確保を行う。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実 績	目標対比
地域住民向けの介護教室・講演会の開催実施	2回	0回	近隣町内会と講演会の開催について企画・検討したものの、日程調整出来ず来年度以降に再検討となった。
ボランティアの積極的受入	4回	12回	介護ボランティア、その他ギター唄会等で計12回のボランティアを積極的に受入した。

課 題	施設機能の地域への開放		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の福祉ニーズ調査を行い、実施可能なことから優先して取り組む。</li> <li>・行政等のボランティア関係機関の活動団体を積極的に活用し地域とのつながりを大切にする。</li> <li>・第三者委員会等から施設への提言を頂く。</li> <li>・ボランティア、町内会、自治会等地域の方々に施設活動への参加を呼びかける企画を立案する。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実 施	目標対比
地域の福祉ニーズの調査及び取組み	検討	松園地域の	左記の町内会と平成29

	実践	一部の町内会との講演会企画したもの日程調整付かず開催に至らず。	年度に改めて講演会の開催を検討することとしている。その他ボランティアについては積極的に受入れし、その際地域住民としての意見を取り入れ今後の活動を検討している。
--	----	---------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

課 題	職員研修の充実と専門性の向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員を対象に定期的に施設内研修を実施し、勤務体制の状況によっては時間外での開催も検討する。</li> <li>・引き続き外部研修に積極的に派遣し、復命研修や他職員に対してOJTを行い、日常業務の中で実践していく。また、OJTでの指導を活性化させ、共に気付きを向上させる取組みを行っていく。</li> <li>・施設内研修に、外部講師も積極的に招聘する。</li> <li>・職員の資格取得を奨励し、積極的に情報提供を行っていく。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実績	目標対比
施設内研修の開催回数	6回	6回	委員会が主体となり、外部講師を含めた研修会を計6回実施し達成
施設内研修への職員参加率	95%	98%	職員のシフトに併せ、回数を分けて開催することで参加率向上し目標達成
職員の資格取得率(専門職員数に対する介護支援専門員・介護福祉士の取得割合)	55%	39%	28年度は介護福祉士に1名合格により取得率39%と未達成。その他社会福祉主事で2名取得した。平成29年度は特養で2名の介護福祉士、実務者研修3名、GHで介護福祉士1名、実務者研修2名が受験並びに受講予定である。

課 題	会議、委員会の活性化と職員間の連携強化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員会については、今まで毎月初のリーダー会議と併せて開催していたが、今後は内容の充実化と効率化を図るため、各種委員会の開催は毎月末週に開催</li> </ul>

取組方針	<p>し、翌月のリーダー会議で内容報告と意見集約を行うこととする。その後、職員会議で議事録等資料を各部署及びユニットに配布するとともに、申し送りでも徹底し浸透させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の資料作成と配布により、会議時間を短縮し、業務に支障を来たさぬよう、効率的に実施する。</li> <li>・会議、委員会開催開始時間の徹底と終了時間を明確にする。</li> <li>・職員間の連携強化については、部署毎、ユニット会議を定期的に行い情報の共有を図る。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実績	目標対比
部署毎、ユニット会議の開催回数	毎月1回	2か月 (平均)	前期と比較し改善されたが、ユニット毎で開催回数が不定期であったため未達成となった。次年度より隔月前半の開催に統一する。

課題	権利擁護の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束廃止、虐待防止について、委員会の活性化を図り、個々のケア場面について検証し、虐待防止と利用者の人権や安全に配慮したケアの改善に取り組む。</li> <li>・権利擁護及び高齢者虐待防止等について研修会を通じ、職員一人ひとりが関心を持ち、正しい知識を身に付けることで、尊厳の保持及び利用者本位のケアに向けて介護力、看護力を高める。</li> <li>・成年後見制度の家族等への理解を深める取り組みを行う。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実績	目標対比
身体拘束廃止・虐待防止に向けた研修実施	1回	2回	研修受講した職員が講師となり本テーマにて施設内研修を実施。
権利擁護研修への派遣	2名	2名	権利擁護に関する外部研修に看護主任等2名が受講。

課題	情報開示・情報提供の充実		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報「さくらぎだより」については、利用者家族等の知りたい情報が発信できるよう、掲載内容を充実させる。</li> <li>・施設選定の参考となるべく、ホームページの掲載内容を検討・精査し、定期的な更新を行う。</li> <li>・施設パンフレットについても、居宅介護支援事業所と併せて、見やすく・わ</li> </ul>		

	かりやすく・選定につながるパンフレットにリニューアルするよう検討し、早期に実施する。		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実績	前期比
「さくらぎだより」の定期発行	年4回	年4回	期初に年4回の発行日を決定し委員会が管理徹底し4回発行。目標達成。
ホームページの充実	年4回の定期見直し	行事等開催の都度更新した他、更に内容の充実を図るため、期の後半にHPをリニューアルした。	HPのリニューアルにより、大幅に内容を充実が図られた。また、施設行事や法人の概要のみならず、求職者に対する情報発信とアピール強化にもつながった。

課題	感染症対策の充実及び徹底		
取組方針	・感染委員会が主体となり、関連マニュアルの見直しと周知を行い、感染症予防対策や緊急時への備えを講ずる。		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実績	目標対比
感染症予防マニュアルの見直し	随時	前期に見直し再作成済。	目標達成。今後も随時見直しを図る。
感染症予防研修の実施	6回	施設内研修でマニュアルに沿って実施。その後汚物処理方法等実演を一週間実施により目標達成。	研修と各部署に備え付けし全職員に周知徹底。目標達成。

課題	計画的な修繕		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕整備する必要がある設備機器等について調査の上、整理し優先順位をつけ、計画的な修繕を行う。</li> <li>・設備機器の正しい使用方法を再確認し、異常の早期発見と報告を徹底するため、取扱マニュアルと修繕管理簿を作成する。</li> </ul>		

	・利用者の行為、又は職員の誤操作等による突発的な修繕については、発生要因の検証と再発防止の検討を徹底し、突発的修繕を抑制する。		
目標項目	平成28年度目標値		
	目標値	実績	目標対比
設備機器の正しい使用方法の再確認、異常の早期発見と報告の徹底。	取扱いマニュアルの作成と周知徹底	故障発生報告は都度伺書により報告。取扱いマニュアルは一部作成するに至った。	目標未達。管理簿については今後の管理方法等も併せ修繕計画書と共に再検討予定。
突発的修繕の抑制 (上記理由による修繕費、現状約100万円)	修繕計画表の作成 現状より7%削減	前期計画策定済み。 平成28年度の修繕費総額3,253千円。	経年劣化による修繕が予想される設備機器は計画立てたが予想を上回る故障等増加し目標対比225%と未達成となった。再度見直し予定。

課題	諸規程の遵守		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員研修では、先ず就業規則等身近なところから始め、一度きりの説明とせず、その後は既存の職員と同様に、職員会議やスポット研修により、項目を絞って説明し、全職員が理解できるようにする。</li> <li>・諸規程等の内容については、制度改正に伴う見直し改正の他、施設の実情と現状に沿った内容に随時見直ししていくこととする。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実績	目標対比
新人職員研修での説明実施	年1回	新人職員には入社時に就業規則を始め諸規程関係について説明し徹底。	目標達成。就業規則及び諸規程については改正の都度、説明会を実施していく。
職員会議又はスポット研修での説明	年2回	6月の会議にて全職員に対し決算及び事業報告を行った際に併せて就業規則と諸規程について改めて説明。	同上。

課 題	利用者の安全管理の徹底		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防、急変時のマニュアルを見直しの上、再作成し、感染予防、事故対策に努める。</li> <li>・協力病院や他職種と連携を図り、利用者の状態を把握し、体調不良を早期発見し、迅速な対応を行い、重症化を防止する。</li> <li>・職員へ施設内研修等により、医学的知識を提供し、利用者の体調不良等の異常について早期に発見する。</li> <li>・「医療的ケア」に参加することで、介護職員が技術・知識を習得し、利用者の安全を確保する。</li> <li>・利用者家族と情報を共有・提供し、利用者の健康を維持し信頼関係を構築する。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実 績	目標対比
施設内研修の実施・マニュアルの作成	内容の見直し・作成	安全委員会にてマニュアルを再作成し施設内研修で全職員に徹底。	目標達成。今後も内容について随時見直し充実を図る。
「医療的ケア」研修の参加	職員参加	28年度は4名の介護員を受講させ資格を取得	目標達成。今後も質の向上目指し積極的に介護員を受講させていく。

課 題	快適な食生活を送れるよう支援する		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養並びに心身の状況を考慮した栄養マネジメントの実施。</li> <li>・栄養ケア計画に基づき、栄養面、嗜好面、季節感を考慮したメニューを作成する。また、日々可能な限りユニットを回り、利用者より食事に対する意見を聴取の上、記録し改善につなげる。</li> <li>・食事摂取基準改正後の食塩量に抑制するため、盛付器具の統一と献立の見直し、盛付等によるバラつきをなくする。</li> <li>・刻み食、ゼリー食については、利用者の意見の他、介護職員の意見も取り込みながら盛付等を工夫する。(行事食や楽しみとしての取組みについても同様に実施)</li> <li>・食中毒や感染症予防については、職員の意識レベルを向上させるため、日常的な注意喚起と衛生管理を徹底。</li> <li>・栄養ケア計画含む利用者情報及び報告について、組織配置に則って改めてルール作りし情報共有化を徹底する。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実 績	目標対比

食事の減塩対策（1日あたり7g未満）	献立の見直し・検討	前期に続き、減塩対策継続、また献立も直し、1日あたり7g未満に抑えることが出来た。	目標達成。今後も維持管理を徹底。
情報共有・記録簿に関するルール作り	記録簿の見直し	カンファレンスと申し送りにて情報共有することをルール化し、前期に続き記録簿についても再度見直しを図った。	目標達成。今後も各部署との連携強化し情報の共有化を図る。

課 題	施設利用者の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別実施計画に基づいた機能訓練の実施と定期的な評価と見直し</li> <li>・カンファレンスや実施プラン等利用者情報及び報告について、組織配置に則って改めてルール作りし情報共有化を徹底する。</li> <li>・他職種の協力を得ることで介護予防活動の強化を図る。（季節を感じる行事、さくらぎコーラス、園芸活動、外出活動等）定期的な評価と見直しを実施。</li> <li>・現状の機能訓練実施体制を見直すことで、利用者満足度の高い機能訓練、介護予防活動を提供していく。</li> </ul>		
目標項目	平成28年度		
	目標値	実績	目標対比
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練実施プラン</li> <li>・介護予防活動</li> </ul>	3か月毎	第三者評価での指導を踏まえ期初に機能訓練実施計画と介護予防活動計画に分別し新たに策定。評価は3か月毎に実施。	評価及び見直しの実施により目標達成。今後も随時見直し検討予定。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練実施プラン</li> <li>・介護予防活動</li> </ul>	1か月 1回以上	機能訓練実施については個別に定期的実施、介護予防活動は全体またはグループで平均4回以上実施。	個別訓練については、工夫し実施回数を増やした。介護予防活動は利用者のニーズも把握の上実施し目標達成。



課 題	利用稼働率の維持・向上				
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムラグの少ない施設入所を行うため、入所判定委員会で入所順位を決定しているが、入所の段階で断られるケースもあるため、申込待機者リストの更新を常に行い、待機者の動向調査を行う等管理を更に強化する。</li> <li>・感染症対策と事故防止の徹底、特に冬場のインフルエンザ等感染症は、利用稼働率に大きく影響するため、引続き職員に対する予防接種や感染予防対策に関する知識の周知に取り組む。</li> <li>・長期入院者については、家族・協力病院と連携し、空床期間をできる限り短縮する。また、入院中の空床ベッドを有効利用し、短期入所の利用率アップにつなげる。</li> <li>・生活相談員と居宅介護事業所との連携を密にし、空床を埋めるとともに継続利用につなげる。</li> </ul>				
指 標 (稼働率)	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度		
	実 績	実 績	目標値	実 績	前期比
施設入所	96.2%	72.5%	98%	100%	入院・退所等による空床期間を極力なくし、またショートからの入所増加により空床率改善し目標達成。

(2) 短期入所生活介護事業所計画  
〈利用稼働率の向上〉

指 標 (稼働率)	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度		
	実 績	実 績	目標値	実 績	前期比
短期入所	77.5%	72.5%	90%	66.7%	長期への切替、定期利用者の入院等により空床率増加し未達成となる。今後各事業所等への利用促進を推進していく。

## 〈さくらぎの里居宅介護支援事業所〉

### 〈実施報告〉

1. 利用者や家族からの相談に対し、訪問、電話、来所等、様々な方法により対応を図った。  
利用者や家族の依頼により、要介護認定申請手続き業務を代行する等、利用者の便宜を図った。利用者や家族に対し、適切な意思決定ができるよう介護保険及び、各サービス事業所や医療機関に関する情報提供に努めた。
2. 認知症高齢者への支援のため、地域での研修へ参加し、専門知識の習熟に努めるとともに利用者・家族・医療機関・サービス事業所との連携を密にし、利用者本人に最も適切なサービスの提供を行い、継続的に支援を行った。
3. 十分なアセスメントを行い、利用者や家族の意向に基づいたケアプラン作成を行いながら、生活における問題点の改善が図れたかどうかのモニタリングを行った。
4. 利用者数減少の挽回策として、地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの他、開業医等への訪問、居宅支援事業所のパンフレットや広報を地域や事業所等へ配布する等新規先確保の強化に努め、介護予防3件の実績等新規先の確保につながったが、契約終了者増加により前年度を上回るも目標未達成となった。
5. 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

#### 〈利用稼働率の向上〉

指 標 (稼働率)	平成 26 年度 実 績	平成 27 年度 実 績	平成 28 年度		
			目標値	実 績	前期比
居宅介護計 画作成件数 (平 均)	26件	24件	35件	28件	新規件数確保するも長期入院、他施設への入所による契約解除件数増加し大幅に未達となった。今後地域包括センターや各事業所・開業医等との連携強化し新規先契約件数確保に注力する。

## 〈グループホームさくらぎ〉

### 1. 事業活動内容の総評

グループホームの開所以前から、開設準備委員会を中心に活動し、予め準備期間に余裕を持たせることで施設設備等のハード面については、問題なくスムーズに開所することが出来た。入居者の満床確保までには若干時間を要したものの、入居するまでの調査や面談等を慎重に行った結果、入居者や家族の要望にも応えることが出来たものと思料する。

入居者については、本人の自己決定を尊重し支援することを心掛け、食事や趣味、外出等、本人の希望に寄り添う介護を行った。排泄の自立支援、認知症の進行防止等、在宅生活からの継続性を重視した個別サービスを提供した。

医療面では、協力病院と協力歯科医院と契約し医療連携を保持することで緊急時のスピーディーな対応が図られた。また、開所時から看護師を配置することで入居者の健康管理が良好に保たれるよう配慮した。

入居者のみならず職員の交流として、地域の季節行事への積極参加により、グループホームへの理解を深め、地元に密着した活動に注力した。

平成29年度は、サービスの質の向上を高めるため、職員の自己啓発の促進と外部研修への職員参加及び内部研修の定着を図ることで知識面、技術面のレベルアップを目指し、積極的に入居者への支援を図り、入居者満足度を高める援助を職員全員で提供できるよう努めて参りたい。

※平成28年度の活動内容等の詳細は次のとおりである。

### 2. 入退去者の状況（平成28年7月開所：18床）

	区 分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数	医療機関	1	2								3
	社会福祉施設										0
	老人保健施設		1								1
	自宅	8	2	2	2						14
	その他										0
	合 計	9	5	2	2						18
退居者数	医療機関										0
	社会福祉施設										0
	老人保健施設										0
	自宅										0
	その他										0
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入居者数		9	14	16	18	0	0	0	0	0	18

### 3. 入居実数（在籍日数）

区 分		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
介 護 度 別	要支援 2	在籍日数			30	31	30	31	31	28	31	212
		実人数			1	1	1	1	1	1	1	1
	要介護 1	在籍日数	88	93	60	117	120	124	124	112	124	962
		実人数	3	3	2	4	4	4	4	4	4	4
	要介護 2	在籍日数	16	63	100	124	120	124	124	112	124	907
		実人数	1	3	4	4	4	4	4	4	4	4
	要介護 3	在籍日数	61	133	194	217	180	186	217	224	248	1,660
		実人数	4	6	7	7	6	6	7	7	7	7
	要介護 4	在籍日数		16	30	31	60	62	62	28	31	320
		実人数		1	1	1	2	2	2	2	2	2
	要介護 5	在籍日数	28	31	30	31	30	31				181
		実人数	1	1	1	1	1	1				0
合計	在籍日数	193	336	444	551	540	558	558	504	558	4,242	
	実人数	9	14	16	18	18	18	18	18	18	18	

### 4. 入居者の身体状況等

区 分	要支援2			要介護1			要介護2			要介護3			要介護4			要介護5			入居者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
65～75歳																					
75～84歳				1	2	3	1		1		2	2							2	4	6
85～90歳		1	1	1		1		2	2	1	3	4	1		1				3	6	9
91歳～							1		1		2	2							1	2	3
合 計		1	1	2	2	4	2	2	4	1	7	8	1		1				6	12	18

	平均介護度	平均年齢	最高年齢	最少年齢
男 性	要介護 2.5	85.2	91	79
女 性	要介護 2.3	86.0	91	80
全 体	要介護 2.4	85.7	91	79

### 5. 日常生活

#### (1) 援助方針

入居者本位の観点から、プライバシーや人権の尊重と本人の希望を実現するための援助するため、職員は制止や言葉の拘束を行わず、入居者の体調に注意した上で、外出を定期的実施し気分転換を図った。

#### (2) 自己判断

入居者が極力自立した生活を送れるよう支援するため、入居者自身が考えて判断する場面を作り、意識して声掛けを行った。

(3) 地域・家族交流

地域交流を図るため、町内会行事に積極的に参加し、またグループホームでの単独行事のほかに特養さくらぎの里の行事への合同参加により、家族間との交流を深めた。

(4) 感染症対策

感染症防止対策については、職員及び入居者の手洗い・うがいを徹底。職員マスク着用の徹底と季節性インフルエンザ予防注射を実施した。

(5) 食事

食事の提供時間		摂取状況		食事形態状況	
配膳時間		全面介助	0人	普通食	18人
朝食	7:15	半介助	1人	刻み食	0人
昼食	12:00	ほぼ自立	17人	ミキサー食	0人
夕食	18:00	自助具使用	0人		
※残食調査の実施状況 … 毎食実施					
※メニューは、特養の管理栄養士と連携し、バランスの取れた食事作りを行い、季節にあった食事や行事食を定期的に提供。					

(6) 入浴・排泄・移動

入浴の実施状況		おむつの使用等の状況		機器等の使用状況		
入浴回数	週2回以上	紙おむつ使用者	1人	機器名	施設内	
一般浴		リハビリパンツ使用者	6人	車椅子	操作自立	1人
対象者数	18人	(全員パット併用)			操作介助	1人
内	ほぼ自立 5人	尿取りパットのみ使用者1人			操作見守	(2)人
	半介助 12人	未使用者	10人	歩行器		0人
	全介助 1人	※日中、夜間共に随時確認の上、交換している。		杖		4人
入浴日	1・2階共に1日			独歩・ほぼ自立		12人
	2～3人を入浴			介助歩行		0人

(7) 行事の実施状況

開催日	行事名	開催場所	参加者数
28.7.23	夏祭り (さくらぎの里合同)	さくらぎの里	7名
28.7.24	一里塚祭り	アネックスカワトク	2名
28.7.30	ふれあい夏祭り 2016	ケアガーデン高松	9名
28.7.31	アロハサークル公演 (さくらぎの里合同)	さくらぎの里	9名
28.8.7	憩いの家夏祭り	高松老人憩いの家	8名
28.8.31	コーラス練習 (さくらぎの里合同)	さくらぎの里	2名
28.9.10	敬老会 (さくらぎの里合同)	さくらぎの里	12名
28.9.24	フラダンス鑑賞会 (さくらぎの里合同)	さくらぎの里	6名

28.10.18	臨床美術（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	2名
28.10.19	お茶会	高松老人憩いの家	4名
28.10.27	そば打ち体験（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	2名
28.10.29	ギター演奏会（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	2名
28.11.8	高松保育園慰問	グループホームさくらぎ	8名
28.11.12	介護フェア（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	8名
28.11.15	臨床美術（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	2名
28.12.3	北の街ナツメロ合奏団（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	6名
28.12.10	ギターコンサート（ギタリスト福田進一）	さくらぎの里	4名
28.12.21	クリスマス会	グループホームさくらぎ	18名
28.12.30	紅白歌合戦（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	6名
29.1.11	鏡開き	グループホームさくらぎ	18名
29.1.17	臨床美術（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	2名
29.2.3	節分豆まき、おやつ作り	グループホームさくらぎ	18名
29.2.21	臨床美術（さくらぎの里合同）	さくらぎの里	1名
29.2.25	利用者合同誕生会	グループホームさくらぎ	18名

#### 5. 事故・ヒヤリハット状況について

平成28年7月1日の開所以降、の事故・ヒヤリハット報告書については、中途採用の職員も多く、作成方法等の考えにバラツキがあることから、特養と同様に情報を共有することを主として、詳細についても報告書を作成する意識を高めることを目的とし、開所から9か月間で130件の実績となった。

報告分析結果として、認知症の利用者が多く幻視があり、また歩行が安定しないため、転倒やふらつきが多かった。

平成29年度は、職員の配置体制の見直しによる見守り強化やリビング及び居室のレイアウトの変更等によるケガ防止策を図る。また、ケアの不適切による事故、繰返し起こる内容等、職員会議で防止策を検討するとともに、施設全体で事故予防に向けたリスクマネジメント、職員の育成に取組み、再発防止に努めていくこととする。

※事故・ヒヤリハット発生件数状況は、【別紙5】のとおり

#### 6. 苦情対応委員会

利用者の権利を擁護し、適切な施設運営を行うため、苦情受付窓口担当者及び苦情解決責任者を引続き配置し、特養と同様に平成28年6月24日、同年11月12日、平成29年3月11日の計3回開催した。

苦情件数については、平成28年7月開所から通じ、1件の苦情があった。要因として、利用者の外出時の際の排泄に対する気配り不足による苦情があった。要因として、職員の配慮不足や職種間の連携と共通認識不足から発生しており、苦情に対しては全職員が真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいる。

## 7. 研修受講状況

### 〈外部研修〉

日時	主催	テーマ	職種	参加者
28.6.24 ～12.13	全国老人福祉施設協議会	平成 28 年度介護力向上講習 会東北ブロック分校	グループホームさ くらぎ介護支援専 門員	三浦敦子
28.7.20 28.10.25	NPOいわての保健福祉 支援研究会	介護職・福祉職・看護職等の 人材育成のためのケアのリ スクマネジメント研修会	グループホームさ くらぎ管理者	小林日和
28.7.25 ～7.29	公益財団法人いきいき岩 手支援財団	平成 28 年度認知症介護実践 者研修（講義・演習）他職場 実習4週間	グループホームさ くらぎユニットリ ーダー	久保 誠
28.9.6 ～9.8 28.10.11 ～10.13	公益財団法人いきいき岩 手支援財団	平成 28 年度岩手県介護支援 専門員実務従事者基礎研修	グループホームさ くらぎ介護支援専 門員	三浦敦子
28.11.30 ～12.1	公益財団法人いきいき岩 手支援財団	平成 28 年度岩手県認知症介 護サービス事業小規模多機 能型サービス等計画作成担 当者研修	グループホームさ くらぎ介護支援専 門員	三浦敦子

### 〈内部研修〉

日時	テーマ	内部講師	参加者
29.3.2	高齢者権利擁護看護実務者研修第 1 回	山崎奈美(看護師)	6 名
29.3.7	〃 第 2 回	〃	4 名
29.3.23	看護職・介護職のための高齢者ケア研修会第 1 回	千葉佳子(介護員)	5 名
29.3.28	〃 第 2 回	〃	6 名

## 8. 運営推進会議の開催状況

日時	回数	出席者	記録 (議事録) の有無	会議の主な内容
28.10.19	第 1 回	GH施設長、GH管理者、高松 3丁目町内会長、盛岡市職員、 民生委員、盛岡西口地域包括 センター職員、利用者、利用者 家族の計 8 名	有	GH活動報告 事業実施内容 今後の活動予定 各委員の意見集約等

28.12.19	第2回	GH施設長、GH管理者、高松3丁目町内会長、盛岡市職員、民生委員、盛岡西口地域包括センター職員、利用者、利用者家族の計8名	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
29.2.20	第3回	GH施設長、GH管理者、高松3丁目町内会長、盛岡市職員、民生委員、盛岡西口地域包括センター職員、利用者、利用者家族の計8名	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等

#### 9. 外部評価受審について

外部評価受審については、平成29年6月30日に評価実施機関である特定非営利法人いわての保健福祉支援研究会による評価実施の受審を予定している。



【別紙1-①】

利用者状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日 稼働日数365日)

(1) 入所(特別養護老人ホーム さくらぎの里) 定員50名

各項目		平成27年度(A)	平成28年度(B)	年度対比(B-A)	
①	年間平均利用者数	50.5人	50.0人	▲0.5人	
②	年間延利用者数	18,493人	18,246人	▲247人	
③	新規入所者数	20人	17人	▲3人	
④	退所者数	16人	21人	+5人	
年間平均利用率(%)		101.0%	100.0%	▲0.1%	
男	男性				
	①	年間平均利用者数	4.6人	4.6人	0人
	②	年間延利用者数	1,675人	1,676人	+1人
	③	新規入所者数	3人	1人	▲2人
女	④	退所者数	2人	2人	0人
	女性				
合	①	年間平均利用者数	46.0人	45.4人	▲0.6人
	②	年間延利用者数	16,818人	16,570人	▲248人
	③	新規入所者数	20人	16人	▲4人
	④	退所者数	14人	19人	+5人

(2) 短期入所(さくらぎの里短期入所生活介護事業所) 定員12名

各項目		平成27年度(A)	平成28年度(B)	年度対比(B-A)	
①	年間平均利用者数	8.7人	8.0人	▲0.7人	
②	年間延利用者数	3,180人	2,916人	▲264人	
③	新規入所者数	212人	198人	▲14人	
④	退所者数	215人	197人	▲18人	
年間平均利用率(%)		72.5%	66.7%	▲5.8%	
男	男性				
	①	年間平均利用者数	1.5人	2.0人	+0.5人
	②	年間延利用者数	545人	743人	+198人
	③	新規入所者数	12人	59人	+47人
女	④	退所者数	13人	57人	+44人
	女性				
合	①	年間平均利用者数	7.2人	6.0人	▲1.2人
	②	年間延利用者数	2,635人	2,173人	▲462人
	③	新規入所者数	200人	139人	▲61人
	④	退所者数	202人	140人	▲62人

(3) 居宅事業所(さくらぎの里居宅介護支援事業所)

各項目		平成27年度(A)	平成28年度(B)	年度対比(B-A)
請求実数		291件	298件	+7件
(月平均請求実数)		(24.3件)	(24.8件)	(+0.5件)
居宅介護支援費		3,400,620円	3,517,809円	+117,189円
居宅予防支援費		0円	30,960円	+30,960円

(4) 認知症対応型共同生活介護 (グループホームさくらぎ) 定員18名

各項目		平成28年度 (平成28年7月開所:稼働9か月間)
①	年間平均利用者数	15.5人
②	年間延利用者数	4,242人
③	新規入所者数	18人
④	退所者数	0人
年間平均利用率 (%)		86.1%
割 合	男性	
	男 ①	年間平均利用者数 5.4人
	男 ②	年間延利用者数 1,474人
	女 ③	新規入所者数 6人
	女 ④	退所者数 0人
	女性	
	①	年間平均利用者数 10.1人
	②	年間延利用者数 2,768人
③	新規入所者数 12人	
④	退所者数 0人	

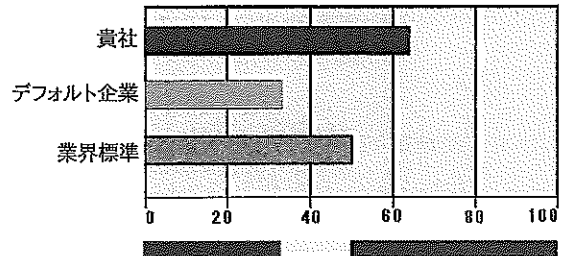
# 個別指標診断結果

指標の意味 ▲:指標値が高い程よい ▼:指標値が低い程よい

診断項目	指標名	貴社の得点	指標の意味	指標値	業界基準値	
					中央値	上位30%値
収益性	売上高総利益率	▲	▲	5.64 %	98.47 %	100.00 %
	売上高営業利益率	▲	▲	5.64 %	1.28 %	4.72 %
	売上高経常利益率	▲	▲	4.76 %	1.70 %	5.20 %
	総資本営業利益率	▲	▲	1.75 %	1.50 %	5.30 %
	総資本経常利益率	▲	▲	1.48 %	1.90 %	6.40 %
	総資本償却前経常利益率	▲	▲	5.29 %	6.39 %	11.86 %
	インテレスト・カバレッジレシオ	▲	▲	5.70 倍	1.30 倍	5.70 倍
	債務償還年数	▼	▼	4.29 年	6.30 年	3.10 年
効率性	総資本回転率	▲	▲	0.31 回	1.43 回	2.39 回
	売上債権回転日数	▼	▼	62.84 日	48.80 日	11.26 日
	棚卸資産回転日数	▼	▼	0.42 日	0.00 日	0.00 日
生産性	一人当り売上高	▲	▲	5,288 千円	5,505 千円	8,142 千円
	一人当り有形固定資産額	▲	▲	10,919 千円	1,962 千円	5,481 千円
	一人当り経常利益	▲	▲	252 千円	88 千円	304 千円
安全性	自己資本比率	▲	▲	70.12 %	11.24 %	31.76 %
	流動比率	▲	▲	354.80 %	212.17 %	354.85 %
	当座比率	▲	▲	353.44 %	159.11 %	287.99 %
	固定長期適合率	▼	▼	83.78 %	74.30 %	46.19 %
	減価償却率	▲	▲	6.39 %	10.20 %	19.91 %
	手元現金預金比率	▲	▲	50.94 %	9.57 %	15.55 %
	借入金月商倍率	▼	▼	9.24 ヶ月	5.46 ヶ月	2.82 ヶ月
	借入金依存度	▼	▼	23.89 %	70.15 %	45.09 %
	預借率	▼	▼	66.16 %	18.94 %	41.29 %
	売上高支払利息割引料率	▼	▼	1.00 %	0.61 %	0.25 %
成長性	前年比増収率	▲	▲	13.91 %	5.45 %	17.79 %
	総資本回転率増減	▲	▲	0.03 回	0.03 回	0.17 回
	自己資本比率増減	▲	▲	-2.20 %	1.12 %	4.98 %

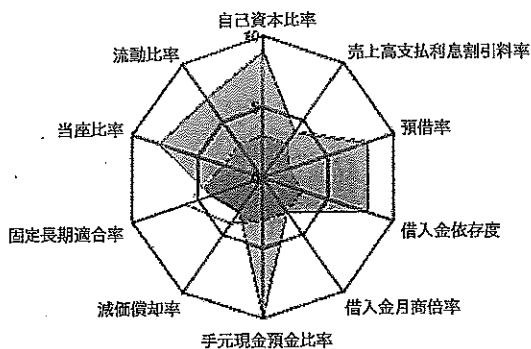
※5点が業界標準です。

財務指標名	貴社		デフォルト企業		業界標準
	得点	指標値	得点	中央値	中央値
自己資本比率	9	70.12 %	3	-8.44 %	11.24 %
流動比率	7	354.80 %	3	125.70 %	212.17 %
当座比率	8	353.44 %	3	76.95 %	159.11 %
固定長期適合率	4	83.78 %	6	68.60 %	74.30 %
減価償却率	3	6.39 %	4	8.92 %	10.20 %
手元現金預金比率	10	50.94 %	3	4.96 %	9.57 %
借入金月商倍率	3	9.24 ヶ月	3	9.50 ヶ月	5.46 ヶ月
借入金依存度	8	23.89 %	3	92.65 %	70.15 %
預借率	8	66.16 %	2	5.75 %	18.94 %
売上高支払利息割引料率	4	1.00 %	3	1.29 %	0.61 %



※判定結果の内訳  
 安全ゾーン(■):業界標準以上  
 警戒ゾーン(□):デフォルト企業以上、業界標準未満  
 危険ゾーン(●):デフォルト企業未満

デフォルト企業との比較結果



■貴社 □デフォルト企業

貴社の合計点	64
デフォルト企業の合計点	33
業界標準の合計点	50

**判定結果** **安全ゾーン**

本診断結果は、貴社の財務指標値を業界水準と対比した場合の目安として表示しているものであり、貴社の信用度を断定するものではありませんのでご留意願います。

## 【別紙2】

## 平成28年度施設整備状況一覧表(特別養護老人ホームさくらぎの里)

## &lt;新規購入・更新&gt;

年月日	内容	支出額(円)
平成28年4月14日	送迎用車両購入(ダイハツタント)	750,000
4月25日	送迎用車両ノーマルタイヤ購入(ダイハツタント)	38,966
4月26日	酸素ボンベ減圧弁PPS代替購入	10,962
7月27日	ナースコールハンド子機購入(5台)	43,200
8月10日	ナースコールハンド子機購入(5台)	43,200
9月28日	ユニット用医薬品収納ボックス(6ユニット分)	123,120
10月13日	医療機器(手首式血圧計1台)購入	5,940
10月26日	給湯器代替購入設置工事	7,344,000
11月7日	福祉車両(ハイエース)スタッドレスタイヤ購入1本	15,660
11月10日	PHSバッテリー購入5個	25,380
11月11日	ホームページ新規契約	627,480
12月16日	居宅福祉車両(財団三菱ミニキャブ)スタッドレスタイヤ購入	39,476
平成29年1月4日	介護ロボット(aams介護センサーマット)3台購入	864,000
1月10日	センサーマット2台購入	54,000
1月10日	インターネットVoiPルーター1台購入	64,800
2月17日	パルスオキシメータ サーフィンPO4台	56,160
	小計	10,106,344

## &lt;修繕その他&gt;

平成28年4月19日	PHS修理(こでまり2台)	31,428
4月19日	車椅子タイヤ・ブレーキ等交換(3台)	7,344
5月13日	業務用洗濯機の洗剤投入用ポンプ交換	32,400
5月13日	PHS修理(ひいらぎ1台)	20,088
5月20日	浄化槽担体抑え改修工事	375,840
6月1日	車椅子ガススプリング等交換(リクライニング1台)	28,836
6月6日	機械浴槽タッチパネル交換工事	26,460
6月9日	厨房室内引き戸改修工事	183,600
6月16日	センサーマット修理1台	7,560
7月4日	ナースコールハンド子機コンセント増設(さざんか・ゆきやなぎ居室各1室)	27,000
7月14日	利用者トイレ便座交換(やまぼうし入口車椅子用)	16,200
7月28日	ユニット居室の床修繕工事(ゆきやなぎ305号室)	30,240
8月10日	行軍用テント修理	26,250
8月26日	特浴背部フレーム交換	22,680
9月12日	高圧ヒューズ交換工事	11,588
9月26日	厨房機器ガステーブルバーナー等交換	111,845
9月26日	ユニット食器洗浄機部品交換(やまぼうし)	48,611
9月27日	インターネット無線LAN交換	75,276
10月17日	ショートステイ(やまぼうし)浴室手すり・すのこ取付工事	180,360
10月19日	車椅子タイヤ・チューブ等交換(2台)	14,904
10月20日	機械浴室入口扉修繕工事	22,500
10月26日	厨房非常灯・2階ホール証明器具取替工事	216,000
11月15日	ユニット食器洗浄機部品交換(ひいらぎ)	73,138
11月18日	ユニット居室内(やまぼうし205・206号室)換気扇部品交換工事	118,800
11月21日	福祉車両(赤い羽根ハイゼット)シーリング部品交換	20,736
12月12日	火災防止設備(誘導灯・受信機・火災通報装置バッテリー)交換工事	71,820
12月20日	2階女子トイレロータンク修繕工事	39,960
12月26日	居宅福祉車両(財団三菱ミニキャブ)パイプ交換	39,330
12月23日	2階ユニット浴室手洗器配水管修繕工事	16,200
平成29年1月5日	GHP室外機コンプレッサー交換工事(ひいらぎ・脱衣所系統)	604,800
1月5日	GHP室外機コンプレッサー交換工事(からたち・さざんか・ゆきやなぎ系統)	615,600
1月29日	車椅子(リクライニング)跳ね上げ部部品交換	2,030
1月29日	センサーマット分器ボックス修理	4,320
2月8日	1階男子トイレ洗面器混合水栓交換工事	56,160
2月21日	厨房内殺菌ランプ交換	15,098
3月29日	GHP吸入温度センサー交換工事(やまぼうし系統)	11,445
	その他	46,696
	小計	3,253,143
	合計	13,359,487

【別紙 3】

平成28年度 特別養護老人ホームさくらぎの里 月別・ユニット別事故・ヒヤリハット発生件数

①場所別発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	玄関	脱衣所	洗い場	施設外	その他	合計
4月	5	3				1			1	10
5月	3	1	2							6
6月	6	1			1	1				9
7月	17	7		1				1	1	27
8月	16	11	1			2	1		1	32
9月	7	5				1		1		14
10月	15	9	2			1				27
11月	18	9	2			2			1	32
12月	7	4				2	2		1	16
1月	10	5				3	2		3	23
2月	14	4							1	19
3月	7	3	2			2			3	17
合計	125	62	9			15	5	2	12	232

②時間別発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	時間不明	合計
4月	3	3	4			10
5月	4	1	1			6
6月	2	2	2	3		9
7月	12	12	3			27
8月	15	11	3	3		32
9月	8	4	1	1		14
10月	7	10	7	3		27
11月	7	13	6	6		32
12月	11	3	1	1		16
1月	8	13	2			23
2月	7	5	5	2		19
3月	7	6	3	1		17
合計	91	80	38	20	0	232

③3時間毎発生件数

	6~9時	9~12時	12~15時	15~18時	18~21時	21~0時	0~3時	3~6時	時間不明	合計
4月		3	1	2	3	1				10
5月	2	2	1		1					6
6月		2	1	1	2		1	2		9
7月	7	6	8	3	2	1				27
8月	5	10	6	5	2	1	1	2		32
9月	3	5	4		1			1		14
10月	2	5	5	4	8		2	1		27
11月	2	5	4	9	2	4	2	4		32
12月	3	8	3			1	1			16
1月	2	6	10	3	2					23
2月	2	4	6		3	2		2		19
3月	3	4	3	3	3			1		17
合計	31	60	52	30	29	10	7	13	0	232

④種類別発生件数

	転倒転落すり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃瘻抜去	合計
4月	4	1			2	1		2			10
5月	2							4			6
6月	2	3						4			9
7月	5	7			1	1	13				27
8月	4	9			5	1		13			32
9月	3	7						4			14
10月	5	8	1		2	1		10			27
11月	6	6			3	2		15			32
12月	2	5			3			6			16
1月	3	8			2	1		9			23
2月	4	3						12			19
3月	5	7			1			4			17
合計	45	64	1	0	19	7	13	83	0	0	232

⑤ユニット毎種類別発生件数

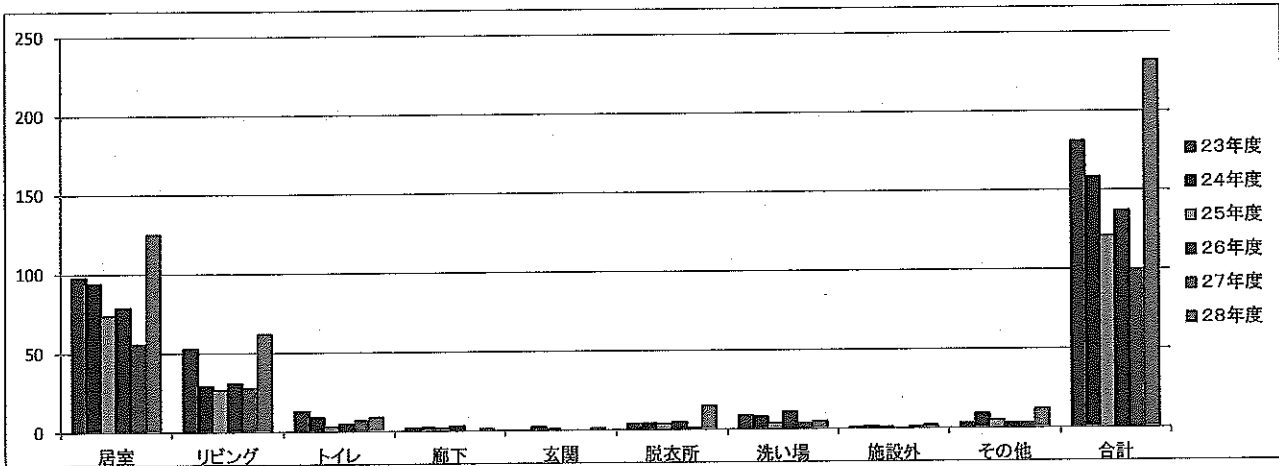
	転倒転落すり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃瘻抜去	合計
からたち	7	6			1			17			31
こでまり	10	10				2		13			35
さざんか	9	11	1		1			21			43
ひいらぎ	4	15			5	1		14			39
やまぼうし	12	7			4	2		17			42
ゆきやなぎ		17			8	2		13			40
栄養課								2			
合計	42	66	1	0	19	7	0	97	0	0	232

【別紙 3】

平成28年度 特別養護老人ホームさくらぎの里 事故・ヒヤリハット報告書 発生件数報告書

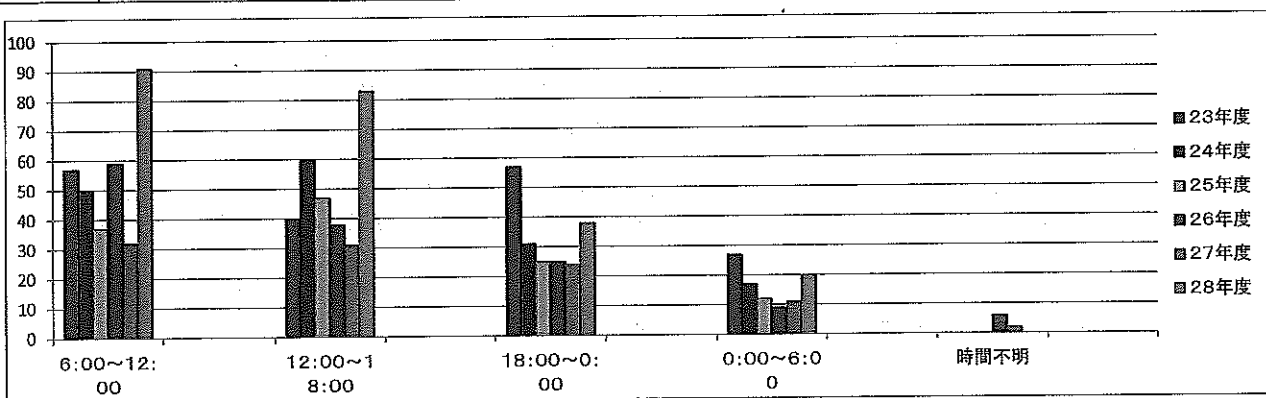
①場所別事故発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	玄関	脱衣所	洗い場	施設外	その他	合計
23年度	98	53	13	2	0	4	9	1	3	181
24年度	94	29	9	2	2	4	8	1	9	158
25年度	74	27	3	2	1	4	4	1	5	121
26年度	79	31	5	3	0	5	11	0	3	137
27年度	56	28	7	0	0	1	4	1	3	100
28年度	125	62	9	1	1	15	5	2	12	232



②-I 時間別事故発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	時間不明	合計
23年度	57	40	57	27	0	181
24年度	50	60	31	17	0	158
25年度	37	47	25	12	0	121
26年度	59	38	25	9	6	137
27年度	32	31	24	11	2	100
28年度	91	83	38	20	0	232

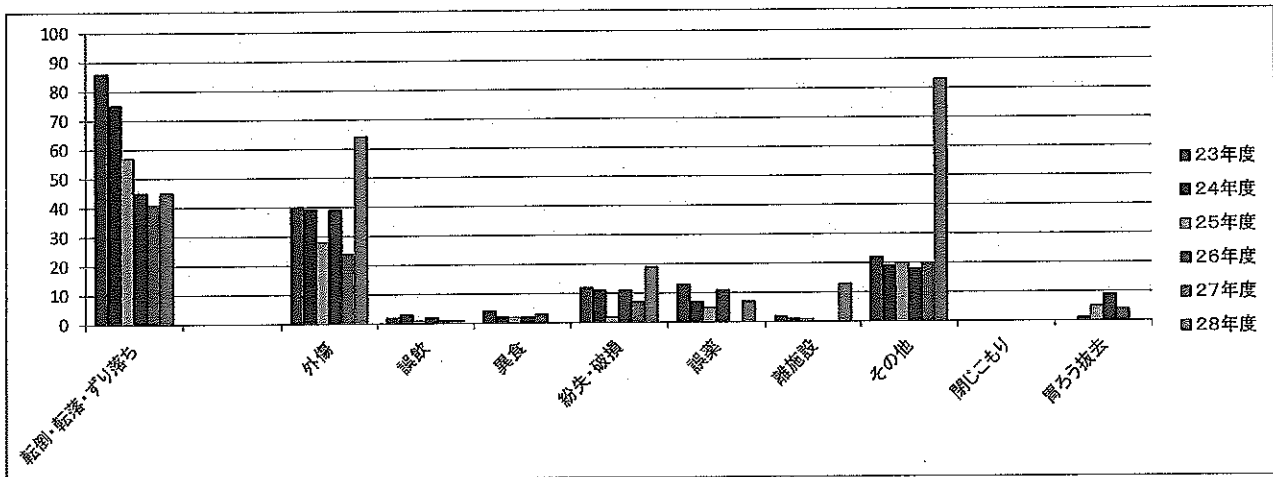


②-II 3時間毎の事故発生件数

	6:00~9:00	9:00~12:00	12:00~15:00	15:00~18:00	18:00~21:00
28年度	31	60	52	30	29
	21:00~0:00	0:00~3:00	3:00~6:00	時間不明	計
	10	7	13	0	232

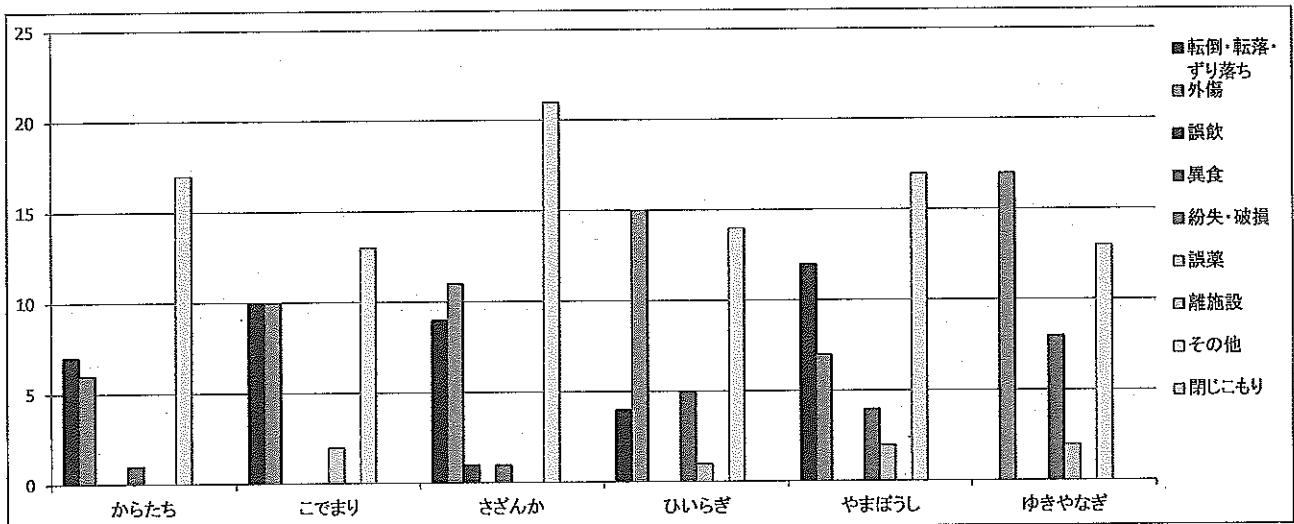
③-I 種類別事故発生件数

	転倒・転落・ずり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃ろう抜き	合計
23年度	86	40	2	4	12	13	2	22	0	0	181
24年度	75	39	3	2	11	7	1	19	0	1	158
25年度	57	28	1	2	2	5	1	20	0	5	121
26年度	45	39	2	2	11	11	0	18	0	9	137
27年度	41	24	1	3	7	0	0	20	0	4	100
28年度	45	64	1	0	19	7	13	83	0	0	232



③-II 平成28年度ユニット別・種類別事故発生件数

	転倒・転落・ずり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃ろう抜き	合計
からたち	7	6	0	0	1	0	0	17	0	0	31
こでまり	10	10	0	0	0	2	0	13	0	0	35
さざんか	9	11	1	0	1	0	0	21	0	0	43
ひいらぎ	4	15	0	0	5	1	0	14	0	0	39
やまぼうし	12	7	0	0	4	2	0	17	0	0	42
ゆきやなぎ	0	17	0	0	8	2	0	13	0	0	40
栄養課	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
合計	42	66	1	0	19	7	0	97	0	0	232



【別紙4】

〈平成28年度リハビリ・行事・ボランティア状況一覧表〉

月	日	行事名	利用者参加者数	実施者
4	1	唄会	18	三浦ケアマネ・リハ
	2・30	ギター唄会	28・26	ボランティア
	16	料理教室(ライスカレー)	6	リハ・栄養課
	16	映画上映会	42	施設
	29	書道	9	リハ
	7・13・21・27	グループ体操	32・39・29・41	リハ
	19	臨床美術	6(3名後日)	外部講師
	28	フラワーアレンジメント	6	外部講師
5	3	書道	12	リハ
	7・14	ギター唄会	34・32	ボランティア
	4・12・21・25	グループ体操	47・35・32・35	リハ
	13	散歩	11	リハ
	16	ゴーヤ・アサガオ種まき	47	リハ
	17	臨床美術	9	外部講師
	20・24・25	外出(馬っこパーク・先人記念館)	5・4・4	リハ・ユニット
6	26	フラワーアレンジメント	5	外部講師
	2・10・15・23・29	グループ体操	29・37・30・20・29	リハ
	3	チャグチャグ馬コ	53	施設
	4	ギター唄会	34	ボランティア
	7	猿舞座 地域公演	50	施設
	9	書道	6	リハ
	21	臨床美術	9	外部講師
	25	北の街ナツメロ合奏団	50	施設
7	27	七夕 折り紙教室	16	小瀬川介護員・リハ
	29	フラワーアレンジメント	5(1名後日)	外部講師
	5・14・20・29	グループ体操	30・23・26・26	リハ
	2・9・16	ギター唄会	27・22・23	ボランティア
	2	折り紙教室	17	小瀬川介護員・リハ
	5・6・7	七夕飾り作り	7	リハ
	6・7	七夕飾りつけ	39	リハ・ユニットスタッフ
	11・21	さんさ踊り練習	14・10	武藤総務課長・リハ
	15	フラワーアレンジメント	4	外部講師
	18	散歩	20	リハ・中田ケアマネ
8	19	臨床美術	8	外部講師
	23	夏祭り	57	施設
	31	フラダンスイベント	53	施設・中田ケアマネ
	2・9・23・29	グループ体操	28・33・26・21	リハ
	4	習字	5	リハ
	9・10	カラオケ	21・6	中田ケアマネ
	12	真夏の雪まつり・カラオケ	19	施設
	19	ハイキング映画会	48	リハ
	20・27	ギター唄会	26・29	ボランティア
	22・29	野菜の収穫	5・4	リハ
	22	シソジュース作り・試飲会	8	中田ケアマネ
	23・24・31	さくらぎコーラス部練習	21・22・23	廣澤調理員・リハ
	24	きゅうり苗植え	4	中田ケアマネ
25	フラワーアレンジメント	5	外部講師	
28	民謡唄会	42	中田ケアマネ・施設	
31	臨床美術	8	外部講師	
	5・15・19・27	グループ体操	24・24・29・21	リハ
	1・2・8・9・10	さくらぎコーラス部練習・発表	23・23・20・19・19	廣澤調理員・リハ
	10	敬老会	56	施設
	1	野菜の収穫	4	武藤総務課長・リハ
	3	民謡唄会	40	中田ケアマネ・施設



9	14	音頭上げ	52	中田ケアマネ・施設
	16	フラワーアレンジメント	5	外部講師
	17	ギター倶会	32	ボランティア
	20	臨床美術	9	外部講師
	23	習字	17	リハ
	24	フラダンスイベント	47	施設・中田ケアマネ
10	1・29	ギター倶会	24・19	ボランティア
	3・4・7	いわて国体観戦	8・4・4	施設職員
	14・20・26	グループ体操	21・23・27	リハ
	6	クッキー作り	6	リハ・栄養課・職員
	18	臨床美術	7	外部講師
	20	フラワーアレンジメント	5	外部講師
11	1	寿司の日	45	施設
	2	紅葉ドライブ	4	リハ・施設職員
	5・26	ギター倶会	21・24	ボランティア
	8	習字	17	リハ
	10	フラワーアレンジメント	5	外部講師
	11	クッキー作り	8	リハ・栄養課・職員
	12	介護フェア ミニコンサート	37	ボランティア
	15	臨床美術	7	外部講師
12	23・30	グループ体操	29・23	リハ
	2・9・12・13・16・17	さくらぎコーラス部練習・発表	23・20・17・16・19・21	廣澤調理員・リハ
	3	北の街ナツメロ合奏団	51	施設
	6・14・28	グループ体操	31・23・24	リハ
	10	福田進一氏 ギターコンサート	44	施設
	17	クリスマス会	54	施設
	20	臨床美術	8	外部講師
	29	フラワーアレンジメント	5	外部講師
1	30	紅白歌合戦	28	リハ・施設職員
	2	書き初め	23	リハ・施設職員
	4・10・18・25	グループ体操	21・26・28・6	リハ
	7	ギター倶会	21	ボランティア
	17	臨床美術	8	外部講師
2	20	フラワーアレンジメント	5	外部講師
	1	のど自慢大会	30	リハ・施設職員
	7・15・23	グループ体操	28・22・26	リハ
	11・18	ギター倶会	29・22	ボランティア
	13・14	習字	21	リハ・施設職員
	21	臨床美術	9	外部講師
3	24	フラワーアレンジメント	7(1名後日)	外部講師
	1	映画会	39	リハ
	1・7・15・22・28	グループ体操	22・30・22・22・28	リハ
	14	ちゃんこ巡業	57	外部依頼
	16・17	習字	21	リハ・施設職員
	21	臨床美術	8	外部講師
	24	フラワーアレンジメント	6	外部講師
25	和音	47	外部ボランティア	

【別紙 4】

〈平成28年度ユニット行事実施状況〉

	からたち	こでまり	さざんか	ひいらぎ	やまぼうし	ゆきやなぎ
4月	お花見	お花見		お花見	お花見	お花見
5月						
6月	【チャグチャグ馬 コ】 ドライブ (高松の池)	【チャグチャグ馬 コ】	【チャグチャグ馬 コ】	【チャグチャグ馬 コ】	【チャグチャグ馬 コ】	【チャグチャグ馬コ】 ひつつみ汁作り
7月	【夏祭り】	【夏祭り】	【夏祭り】	【夏祭り】	【夏祭り】	【夏祭り】
8月		カラオケ大会				
9月	【敬老会】	【敬老会】	【敬老会】	【敬老会】	【敬老会】	【敬老会】 輪投げ
10月	ケーキ作り	秋のケーキ作り				
11月	【介護フェア】	【介護フェア】	【介護フェア】	【介護フェア】	【介護フェア】	【介護フェア】
12月	【クリスマス会】	【クリスマス会】	【クリスマス会】	【クリスマス会】	【クリスマス会】	【クリスマス会】
1月						
2月	豆まき	豆まき	体操	おやつ作り	ボランティアマッ サージ	
3月	ひな祭り ケーキ作り	ひな祭り ケーキ作り	カラオケ大会		マジックショー	カラオケ大会 おやつ作り

【別紙 5】

平成28年度 グループホームさくらぎ 月別・ユニット別事故・ヒヤリハット発生件数

①場所別発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	管理室	台所	浴室・脱衣室	玄関	施設外	合計
4月										0
5月										0
6月										0
7月	7	4	3	3	1	5				23
8月	4	3	1	1			1		3	13
9月	8	4		3					3	18
10月	3	8							1	12
11月	2	9	2	1					3	17
12月	2	4	1			1			2	10
1月	3	1	1	1			1			7
2月	1	6								7
3月	6	10			1	4	1		1	23
合計	36	49	8	9	2	10	3	0	13	130

②時間別発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	合計
4月					0
5月					0
6月					0
7月	9	4	4	6	23
8月	7	4	3		14
9月	6	6	5		17
10月	4	4	3	1	12
11月	8	3	4	2	17
12月	1	6	2	1	10
1月	2		4	1	7
2月	1	4	2		7
3月	8	11	2	2	23
合計	46	42	29	13	130

④種類別発生件数

	転倒	ふらつき	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	暴力	未薬・投薬	その他	合計
4月												0
5月												0
6月												0
7月	1	4								6	12	23
8月		4						3		1	6	14
9月	3	3		1		1		1	1		8	17
10月				1	1	1	1	2	2	2	3	12
11月	2		2	4		2		3	1	2	1	17
12月		1				3	1	1		2	2	10
1月	2					3					2	7
2月	1	1	1	1					2		1	7
3月	2		1			5			2	6	7	23
合計	11	13	4	7	1	15	2	8	8	19	42	130

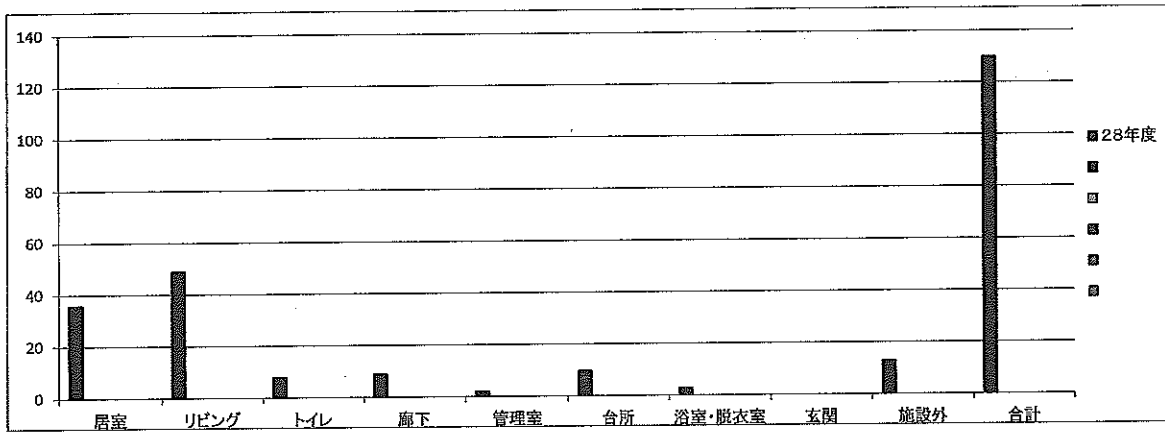
⑤ユニット毎種類別発生件数

	転倒	ふらつき	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	暴力	未薬・投薬	その他	合計
つばき	2	4	2	7	1	8	1	8	5	5	27	70
ぼたん	9	9	2	0	0	7	1	0	3	14	15	60
合計	11	13	4	7	1	15	2	8	8	19	42	130

平成28年度 グループホームさくらぎ 事故・ヒヤリハット報告書 発生件数報告書

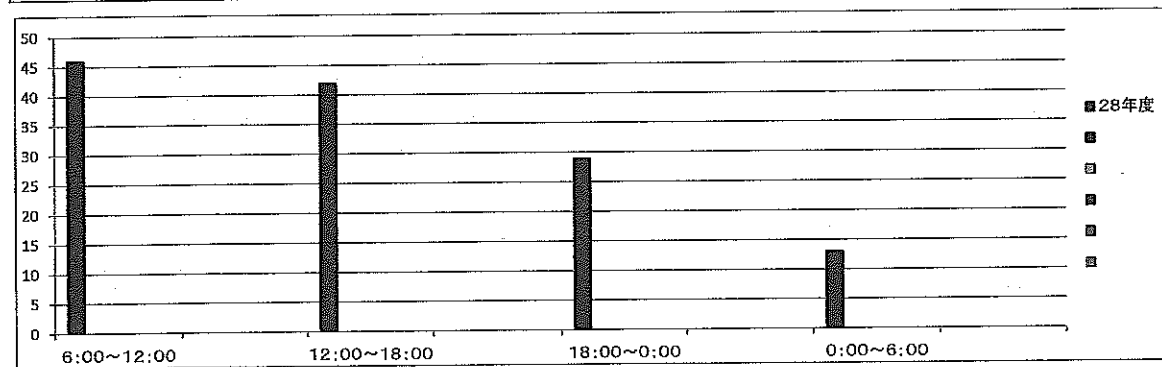
①場所別事故発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	管理室	台所	浴室・脱衣室	玄関	施設外	合計
28年度	36	49	8	9	2	10	3	0	13	130



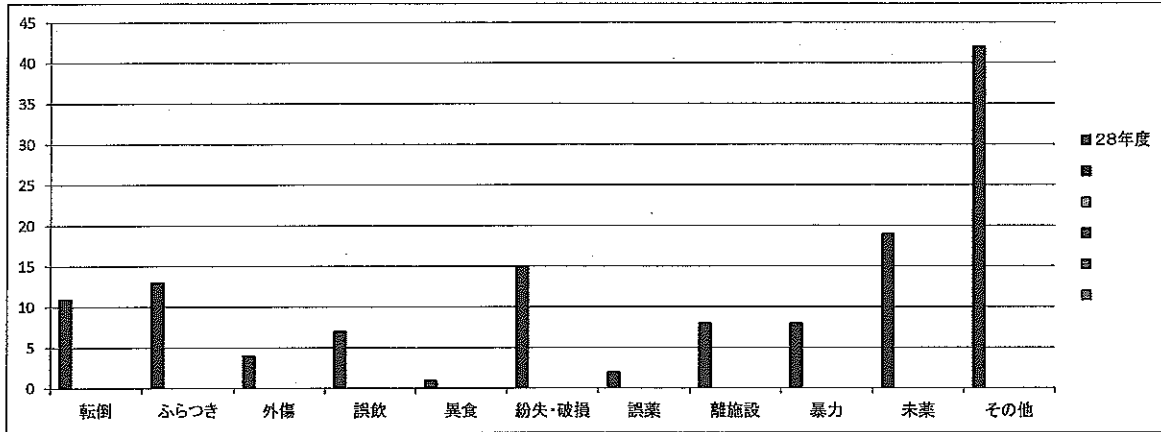
②-I 時間別事故発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	合計
28年度	46	42	29	13	130



③-I 種類別事故発生件数

	転倒	ふらつき	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	暴力	未薬	その他	合計
28年度	11	13	4	7	1	15	2	8	8	19	42	130
												0
												0
												0
												0
												0



③-II 平成28年度ユニット別・種類別事故発生件数

	転倒	ふらつき	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	暴力	未薬・投薬	その他	合計
つばき	2	4	2	7	1	8	1	8	5	5	27	70
ぼたん	9	9	2	0	0	7	1	0	3	14	15	60
合計	11	13	4	7	1	15	2	8	8	19	42	130

